# 減災対策協議会の取組方針に追加する項目

## ①要配慮者利用施設への指導

要配慮者利用施設の所有者又は管理者に対し、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を義務化

<u>平成33年度末までに</u>、要配慮者利用施設における避難確保計画の 作成等を指導する。

<対象構成機関:10市町>

## ②防災教育の取組支援

教育委員会・学校等と連携して、各地域における過去の災害の写真や資料等を活かした授業となるよう、防災教育の充実が図られるように各市町において支援

**<スケジュール>** 

#### 平成29年度

モデル支援校を決定、授業に使用する指導計画・板書計画を作成 ・上流:美馬市立美馬小学校 ・下流:石井町立藍畑小学校



### 平成30年度

モデル支援校で授業(4コマ)を実施し、実施内容を協議会内の全ての小学校に 共有 各地域における災害歴史に関する情報を提供する。



#### 平成31年度

全ての小学校で指導計画作成

各自治体毎に各地域の災害特性(内水・外水・土砂災害)や 被害発生等の状況に応じた誰もが実感出来る内容で作成する。



### 平成32年度~

学習指導要領改訂版に基づく教科書・教材による授業の全面実施

家庭・地域・自主防等での取り組みに展開し『逃げおくれゼロ』を目指す。

〇概ね5年で実施する取組 赤字:取組に追加する実施内容 課題の 信島市 鳴門市 吉野川市 阿波市 石井町 松茂町 北島町 藍住町 板野町 上板町 徳島宗 水資源候構 スメーバ 241歳円の 一 対応 実施内容 時期 項目 事項 1)ハード対策の主な取組 ■洪水を河川内で安全に流す対策 <吉野川> ・勝命節整備 ・退防整備所の ・退防整備所の ・温成体節対策 ・西原食対所所の ・西原会対所の ・調の第一級 ・関島の対策 ・川島島対策 <吉野川>
・勝命箇所の堤防整備
・西林箇所の漏水対策
・西原箇所の侵食対策 ・四原歯所の侵長対束 ・川島箇所の漏水対策 ・旧吉野川> ・中喜来地区の堤防整備 ・広島地区の堤防整備 ・新喜来地区の堤防整備 <県管理河川> 計画的に事業 引き続 を実施。 き実施 20 ■危機管理型ハード対策 <吉野川> 平成28 < 古野川>
・上板箇所の天端の保護・勝命箇所の天端の保護・徳島第2箇所の天端の保護・ <旧吉野川>
・鳴門市大麻町の天端の保護、裏法尻の補強・松茂町の天端の保護・北島町の天端の保護・北島町の天端の保護・北島町の天端の保護・北島町の天端の保護 21) < 今切川>
・徳島市川内町の天端の 保護、裏法尻の補強
・北島町の天端の保護
・松茂町の裏法尻の補強 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 県管理河川に 平成30 おいて危機管 年度以 理型水位計を 降 整備。 吉野川下流に 平成28 おいて簡易水 年度 位計を整備。 ・円滑かつ迅速な避難に資 する水位計等の整備 4 旧吉野川にお 平成29 いてCCTVを整 年度 備。 ・円滑かつ迅速な避難に資 するCCTVの整備 4 事務所ウェブ 平成28 サイトでは6箇 所、川の防災 情報では3箇所 の映像を提供 ・避難行動に必要なCCTV カメラの映像提供 4 中。今後、映像提供箇所数を増加。

#### 〇概ね5年で実施する取組

内容	課題の 対応	徳島市 実施内容	時期	鳴門市 実施内容	時期	吉野川実施内容	時期	阿波 実施内容	市時期	石井町 実施内容 時期	松茂	時期	北島町実施内容	時期	藍住町 実施内容	時期	板野町 実施内容	時期	上板町 実施内容	時期	徳島! 実施内容	時期	水資源根 実施内容	時期	気象) 実施内容	時期	四国地方3
その主な取組 ①危機意識の	の高揚に	向けた啓発活動	协、情報発信	の強化を実施	を(「知る」たる	めの取組)						1111			/ 100	. / 4/		1111						. 111			
最伝達、避難計画等に関する		10 + 1- · ·	III et an II	00 BH EL PL AV A T	meter I-	9+4	I	TE + #	- 1111	100 88 EL # PA A 1 TO 1 TO 1	o Inter-	THE CHAPTER	TE + #	TT =====	571-7	TT =====	TB+#	TI chan	Destruction of the second	TT eft oo	+9717 1-7 -	TI chan	BB /* +# 00 ' * * *	III effect	海山をモル	III efter	<i>#</i>
洪水時における河川管理 者からの情報提供等の内 容及びタイミングやそれら を踏まえた避難動告等者 令の対象区域・判断基準 等の設定 (タイムラインの改良)		現在作成して いインに いインに の の の で の で の で の で の で の で の で の で の	年度~	避難勧告発令 完全 可 可 記 可 定 可 定 可 定 方 で 形 形 移 内 で た が を 移 内 で た の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で の を ら の の で の ら の し 。 の ら す ら ら し う ら し う ら し う ら 。 ら う ら う ら う ら う ら う ら 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。	年度~ じんだい		年度~	現在作成して いるとでは、 なってでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	年度 英	避難動告発令、平成文 の基礎となる。年度 マニュアルを 作成し、業務 内容を適宜見 直しする。		年度~	現在作成して いるタイン インでは、 では、 では、 では、 でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	年度	タイムラインに基づく訓練を実施する。	年度~	現在作成して いるタインで インでといる。 では、 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。		河川管報を かけたと が がたと が が が が が が が が が が が が が が が が		吉野川水糸の 県のタイムライ シを作成する 市町を支援。			年度~		日 年度出 ・ 水期~	作成したタイン ラインについて 対行、検証し 関向上の支援 を行う。
隣接市町における避難 場所の共有		近隣市町上の広域避難に関する調整、避難経路の検討。	年度 !	近隣市町との 広域避難に関 する調整、避 難経路の検 対。	年度~ 広ず	丘隔市町との 広域避難に限する調整、選 性経路の検 す。	年度~	市内の避難にて対応が可能。	可 き実施	想定最大対域 研集 を を を を は対象を は対象を は対象を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が	<ul> <li>近隣市町との ・広域避難に限する調整に要する調整に 乗経路の検 討。</li> </ul>	平成29	県も地域防災 計画に記載されている原 所でいる。 があったに開報 有の実施。	年度	近隣市町上の広域避難に関する調整及び遊離経路の検討。	年度~	近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路の検討。	平成29 年度	近隣市町との 広域避難に関する協定は締 結済。	引き続き実施					メッシュ情報の提供開始。		
・住民等へ適切かつ確実に 情報伝達する体制や方法 の改善		避難を促すような情報文に改良する。	年度~	広報誌を活用 京が発展・ 京が合情報を がお信報を がお自身を が下できるよう を を を を を を を を を を を を を	年度~川月台南位の加信	市内のケーブ レテレビを発 レテレビを難り 対防災水を を を がらい連々を を がり でし、 きる し、 きる は に きる は り で い さ る を り の に き の に き の り の た の た の た の た を り の た り の た り の に し 、 も ら り の に し 、 き る に 言 き う に 言 き き 。 に 言 き き る き る き る き る き る き 。 き き 。 と き る き 。 と き る と き る と き と き と き と き と き と き と き	年度~	避難を促すような情報文に改良する。	年度~	広報誌を活用 平成度 し、国・県・市 年度 し、国・県・市 年度 いる情報等で は民日 さいる情報等を 発する まう 啓発する よう 密発する よう さいまた できない また かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた	9 広報誌等を注。 用に、「国」、「県」 「関」、「場合 「場合」では、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	平成28 年度~	広報誌を活用でした。 「本記」をいまする。 広報話・県に等いまする。 ない生程を入入発する。	年度	広報誌を活面」 広報は東東信等が の代籍のが がる情報がする は住民を入発 いる。	年度~	広報話を展示しています。 本報は、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、単一のでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、単一のでは、単いので	年度	最新情報を常に取得できるようにつよう サイトなどを 改良する。	年度	水位周知河川等では、徳島県県土防災情勢システムが、	き実施	河川利用者に 対する警報方 法の改善。	年度~	をわかりやす い文案に改 良。	年度 平成29 年度出	・洪水予報文な わかりやすい 文案に改良。 ・ブッシュ型の 情報配信。
・洪水リスクに関する住民 意識調査の実施・公表		国と共同してに 対域の は 対域の を を を を を を を を を を を を を を を う る る る る		国と共同して : 共水リスクに意 規調調査を実施 する。	段韻	型と共同して 共水リスクに 引する住民意 能調査を実施 計る。		国と共同した 洗水リスクに 関する住民 調調者 を実 する。	色	国と共同して 洪水リスクに 関する住民意 議論者を実施 する。	9 国と共同して - 洪水リスグロ: 関する住民意 雑調査を実施 する。	平成29年度~	国と共同してに関連の主義を実施する。		国と共同してに 決水リスクに 意識 調査を を実施 する。	平成29年度~	国と共同してに関連すると共同な民産権である。	平成29 年度~	国と共同して 決水リスクに意 関する住実施 する。	平成29 年度~							洪水リスに は 大き は は 大き に を は に に に を を は に に を を を は に を を が ま の き を も に を あ に を あ に を あ を あ を あ を あ を あ を あ を あ を あ を あ を あ を あ を あ も の を あ も の を あ も の を あ も の を あ も の を あ も の を あ を る の を あ る の も の る の も の る る る る る る る る る る る る る
・広域的な危機管理演習の 実施		平吉野成30年左 度岸 29年右岸 を実施 30年左 第30年左 東 演域 15年 30年 30年 30年 30年 30年 30年 30年 30年 30年 30	J	実践的な広域 演習を実施し 広域変雑のあ 力方について )検討を実施。	IZ U	実践的な広域 袁習を実施し あり方について 会計を実施。	j i	実践的な広覧 演習を実施し 広域遊離ので り方につけ 検討を実施。	5	実践的な広域 平成2 深直を実施し 年度 広域遊離のり方について 検討を実施。	9 実践的な広泊 演習を実施し 広域避難のお り方についた 検討を実施。	至 平成30 年度	実践的な広域演習を実施し 広域で実施し り方について 検討を実施。		実践的な広域に対象で表にしています。実践のないでは、実践のないでは、できないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	平成30年度	実践的な広域 演習を実施し 広域で変数 り方に安 検討を実施。	平成30年度	実践的な広域 演習を実施し あり方について 検討を実施。		平成29年右摩は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、なので変になった。実演しないを変雑のありません。 変雑のあり		平成29年右摩康は、はに30年右摩康は、はに40年右摩原30年を東海30年の東海30年の東海30年の東海30年の東海30年の東海30年の東海30年の東海30年の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の		平成29年在度は、は は、はに 対30年左岸の30年左岸に が0な広域したが を実践習 域がありた。 が20年 が20年 が20年 が20年 が20年 が20年 が20年 が20年	平成29年度~	平 成29年右度 度岸 優 に 、 は に 、 は に で が が が が が が が が が が が が が が が が が が

〇概ね5年で実施する取組 赤字:取組に追加する実施内容

時からの住民等への ・想定最大規模降雨 洪水に係る浸水想! の指定と周知	周知・教育・訓 に伴う	練に関する事項		<b>各信の強化を実</b>	JE ( AL O )																	今後、吉野川 水系での県間 理の水位間 河川に水おい て、順、公表す る。	年度~			・吉野川、旧吉野川、切川 に最野川 の は想 を で が は 想 たま
・ハザードマップの改 周知	·良と (6)(	洪水を対象 に、広域避費 計画も反映し た洪水ハザ・	1	想定最大規格 降雨を対象と した決米ハ ザードマップ を作成する。	関 平成29 : 年度~	国の浸水想想 医域 (計画最大規模) 想定指 最大規模 (計画最大規模) け、現 を 受 が、現 を で、公下でし、 で成を検討。		想定最大規模 降雨における 以上を防災ハン ガードマップ を作成。	夏 平成28 。年度 :	想定最大規模 降雨における 法水を対象 に、広を域 が 計画水パを ボマップ 成。	平成30年度	今回の浸水想定見直とを反映したハザードマップ作成と、住民への周知を図る。	平成29 年度~	想定最大規程 降雨及び計画 規模における に、洪水火ハン で一ドで、 を作成。		想定最大規模を 降雨における に、広域域 に、広域を に、 計画 水 で で で で 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の が を 、 が を が を が を が を が を が を が を が で が で が で	平成29 年度~	想定最大規模降所における 降雨における 洪ルを対ハ ザードマップ を作成。	平成29年度	想定最大規核 降雨における 法水を反映し たハザード マップを作成 する。	平成29 年度~					知を実施。
・まるごとまちごとハヤ マップの整備と周知	ザード 1 ⑨	を基に検討る 行い、公共が 設や電柱を 心に、表示者 板の設置を	を 年度~ ・ ・	内閣別の選挙は、所の「記記機構」に所名の国難機等に所表示和記述機等に所表示和記述機等に表示の表の表向に、ない。	号 年度~ == ==	浸水想定区均を基に、公共な施設や電子である。本は、公共な中心に、表示を検討。	年度~	水害実績や浸をなった。本語をは、水想定の域をしている。公共施設でも変われている。大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないの、大きないの、大きない。大きない、大きないでは、大きない。	年度~	浸水想定区域を基に検討を施い、公共では、公共では、公共では、公共では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	平成30年度~	想定津液板を表現で、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	年度~	浸水想定区域を基に検討を施設や電柱を中心に、表示を板の設置。	年度~	現在や、旅会を持ちいるため、では、大きなでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	年度~	検討を行う。	平成29 年度	現在あるものを、さらに充実させる。	平成29 年度~					
・市町長も参加した出対応を確認するセミ 及び洗珠リスクが高 関についての共同が	ナー	生する箇所( ついては共同 点検を実施 済。	年度~	国が実施する トップセミナー 及び重要小の 箇所の共同す 会に参加す	- 年度~ 5	国が実施する トップセミナー 及び共同点も への参加。	平成28 年度~	国が実施するトップセミナー 及び共同点様 の参加。	9 平成28 年度~	河川国道事者の所が実施する所が要決防司をを受け、同点を対している。	年度~	国が実施する トップセミかの参称を当かる 浸水を当かいできない。 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	年度~	国が実地では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	- 年度~ : け : 5 : 8	国が実施を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	年度~	国等が実施するトップセミナー及び共同に投の参加。	平成29 年度	河川国道事務所の共同点移に参加する。	平成29 年度~	国のトップセミナーにおいて情報共有。番年、関係者で重要施。	引き続き実施			毎年、首長で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・情報ソフトインフラも した避難訓練等の3	.活用 実施 ①	係インフラを 活用する方式 を検討。		消防団車両打撃の 対策の 対策の 対策を 対象を 対象を 対象 が 対象 が 対象 が 対象 が 対象 が 対象 が		既存の避難額線等に情報 係インフラを 活用する方策 を検討。	Ⅱ 平成29 日 年度~	既存の避難 練等に情報 係インフラを 活用する方策 を検討。		既存の避難難 練等に情報 係インフラを 活用する方策 を検討。	平成29   年度	実施を検討する。	平成28 年度~	既存の避難 練等に情報 係インフラを 活用する方策 を検討。	川 平成28 年度~	既存の避難訓練(地震を想象を想象を表す。 を対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	甲成31 年度~	浸水ナビ等、パソコンやスマートフォンから得られる情報を活用した 避難訓練を検討。	平成29年度	町の防災訓制 に情報インフ ラを用いた避 難訓練を実施 する。		徳島県避難者とも 保護の では、 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は				浸水ナビ、ハ ザードマップ ボータルサーリ の啓発広動の 実施。掲載依 頼。
・小中学校におけるが教育	水災害	ター等から 一等の を が を が 等が で が 等が で が 等が で で で で で で で で で で で で で	9921/方学 ::/7向面km 0   F十八   平年   平年   30   30	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成30 年度	いた水災害教育を実施。	平成30	実施。	平成30 年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成29 年度~	・ 防災を学者に対した。 防災を受ける。 防災を受ける。 防災を変われる。 防災を変われる。 防災を変われる。 には、	平成30年度	小中学校に 対していずー 対していずー リンプングを書 育定。 防災教育の ・防災教育で 成した全ての小 でした全ての小 る。	平成30 年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・小中学校に 対してハザー 対してハザー にいた大手 にいた大き書。 ・防災教育の ・・ ・ ・ ドデル大指では 大子 によるでは 大子 によるで は で と 大子 の で の が を き 。 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	平成30	小学校を対象についずによっています。 小学校を対していずード、マード、マード、マード、アード、アード、アード、アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・		出前講座を実施。は頼何には、明明のでは、「は、東施」では、「は、東施」では、「ない。のでは、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、」は、「ない、」では、「ない、」では、「ない、」では、「ない、」では、「ない、」では、「ない、」では、「ない、」では、「ない、」では、「ない、」では、	引き続	出前講座やイ イントにおい イントにおい て大雨する際の のかまり で変施のであり でが が が は い な が は い な を 変 を を ま を ま る り な よ り な た も 、 を ま る り ま る り る り た も 、 も 、 も ら も ら を き を き 、 を き を き を を き を を を を を を を を	:	・市町の要請電子 ・市町の東海 ・市町の東京 ・大り歴ナストラー ・大り歴史の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子

〇概ね5年で実施する取組 赤字:取組に追加する実施内容

内容 後の主な取組 ②避難時間	課題の 対応 確保のたる	徳島市 実施内容 めの情報発信	時期	鳴門 実施内容 立と水防活動の	時期	吉野川 実施内容 施(「逃げる」た	時期	阿波i 実施内容	時期	石井町 実施内容	時期	松茂 実施内容	時期	北島 実施内容	時期	藍住8 実施内容	時期	板野町 実施内容	時期	上板町 実施内容	時期	徳島! 実施内容	時期	水資源機構 実施内容 B	<b>宇期</b> 実施に	気象庁 内容 B	四国均 実施内	容
ち活動の効率化及び水防体	#11 00 344 //-	1-88-t-7 75-75														Ter. 222		Lucial C										
水防指導者の育成	(3)	市水が加線をできます。 市水が加い、大きなできる。また、大きなできる。また、大きなでできる。また、大きなでできる。また、大きなでできまた。大きなできまた。大きなできません。	引き続き実施	水防活動や計民の避難ががるに行われた。 では、水防リーダーの育成が を検討。	-	水防資材の在庫管理や長本 水管できる水管できる水管できる水管できる水管できる水管である水管がある。	平成29	水防活動や付 民避難が的る う、すべてわれてに 熟知した水防 リーダーの育 成を検討。	平成29 能年度~	水防活動や住民避難がも住民避難がわれるに、すべてにすった水でに、第知した水のに、熱知した水育成を検討。	平成30年度~	実施を検討する。	平成28	水防技術講 会等を活用 し、浸水想定 の把握とで 技術の習 実施していく。	5	防災エキス パートを積極 かに活用し、 か防リーの の のに落め の の の の の の の の に の の に の の の の の の の		消防署OBや 消防団OBな どを急頭に、 リーダーの育 成を検討。	平成29 年度	水防団員に水 防訓練を実施 する。	平成28 年度~	国と連携して水防指導者の育成を支援。	平成29				ハンドブッ 作成し、調 や東践的で 練を指導者 成を支援。	智会な別し、
・重要水防箇所の見直し																						・徳島県水防 計画に掲載	引き続き実施				重要水防	箇所
	1																					し、徳島県防 災会議水防部 会で確認。 ・重要水防箇 所の精査・見 直し。	3				を実施し、 理由等をきて周知を写	設定 含め
住民や水防団との共同 点検	<b>14</b> )	共同点検はい 持行の消除の 所見にいな 時間の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般	引き続き実施	重要水防筒所等においてが、 等において、共に共に共には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	所 平成28 年度~	国が実施する事実が防衛所を関する事を共称の原理を表現の場合を表現を表現のである。	平成29年度~	洪水リスクのの高いでは、大水リスクののでは、大水リスクののでは、大水リスクののでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水リスクのでは、大水水リスクのでは、大水水リスクのでは、大水水の水が、大水水が、大水水が、大水水が、大水水が、大水水が、大水水が、大水		河川国道事務の開発を受ける。		実施を検討する。	平成28 年度~	河川国道事者の 所が実施協協 重要の共同点が 等の共同点が 織の参加。	T È	河川国道事事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の事務の	平成29 年度~	水防連絡会等 への水防団・ 危機管団・ 危機等 員・消災組 を の参加。	年度	洪水リスクの 高い区間につ いて水防団と 点検を行う。	平成28 年度~	重要水防箇所 等の共同点検 を実施。	引き続き実施				重要水防等の共同。を実施。	箇所点検
水防に関する広報の充実	!	市総合防災 マップ及び広 マッガを 報紙等によより、 洪水・水除り 関する危周 性について。	引き続き実施	洪水ハザードマップを作成し、市公式サイトに りっている。 日本記し、周知する。	=	・想定の表示を対しています。 ・想度は、大伴うしたのでは、大伴うしたのでは、大伴うしたのでは、大伴うしたのでは、大学をできません。 ・河川に教を市りいます。 ・河川に教を市りいます。	引き続 き実施	想定最大規模を 降雨におけるは はたいがましたが、 はたが、 が一ドでした。 ですれていた。 ですれていた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	平成28年度	想定最大規模 降雨に伴うた ハザードマッ ウェブサイトで 公表を行う。	平成30年度~	今回の浸水数 定見直しを反映したハザー ドマップを作 が、でいて、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	-	想定最大規模 降雨に伴う洪 水を反映した ハザードマッ ブを作成し、 ウェブサイトで 公表を行う。		想定最大学の を表すられた。 地では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		広報、バースを は、ハップイトの周水 ルサナラードェ掲載を インを インで インで インで インで インで インで インで インで インで インで	平成29 年度	想定最大規模 酸南に伴う 水を反映した ハザ作のドマッ フェブサイトで 公表を行う。	平成29 年度~	水防計画、重要水防筒所及び平成26年的 び平成26年的 型の浸水煮料 を、ウェブサイトで公表を実	引き続き実施		出前所になった。	おい、大きの一次では、大きの一次である。	を続 浸水想定 や重要水 所資料を ササイトで公 実施。	防箇ウェス
水防資機材の整備		備蓄資機材に では、定 物にに、検管 関連を行い、で でいて、整 情する。	引き続き実施	緊急時に納み 業者からどれ くらいの資材 搬が可能か、機 が可能か、数 量を確認す る。		土のうについるでは、市下では、市下でしている。 情には、情にないできる。 のでは、できる。 ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	i	救助用ボート、土のう製作機の導入を検討。	平成28 € 年度	備蓄資材数の 把握、不足分 については追 加配備を検 討。	平成29 年度~	水防資機材の 更新や追加期 入も踏まえ検 討。	7 平成28 第 年度~	河川堤防や池 去に浸水被害 のあった箇所 に土のうを備 蓄。	■ 平成28 平度~	水防倉庫に整確に整備が、開産であるが、開産したであるが、見た配備計でのかた配体が、関係では、のからにのでは、	平成29 年度~	備蓄資材の配置計画の作成 を検討。	平成29 年度	必要に応じて 整備。	引き続き実施	各庁舎の水防倉庫に保管。	引き続き実施				計画的な3 材の係充 関係市町 保有資機 情報共有。	。 との 材の
水防訓練の充実		毎年、水防訓練を実施して 練を実施して いる。内容に ついては、工 法等を見直 し、実施して いる。	引き続き実施	総合防災訓練 において、実 践に近い水防 訓練を行う。	東 平成29 年度~ 5	他機受対象を 関すが表 関すが表 がいま がいて作り、 がいて作り、 がいて作り、 がいて作り、 がいて作り、 がいてがいている。 は、 がいてがいる。 は、 がいてがいる。 は、 がいている。 は、 がいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		水防団を対象に、水防技術向上のための水防訓練を実施。	平成28年度	自主防災組織等の水防活動への参画を促進。	平成28	実施を検討する。	平成28 年度~	毎年には、 毎年を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	1	ロールプレイ ング等の実践 的な避難訓練 の実施を検 討。	平成29年度~	ロールプレイ ング等の実践 的な避難訓練 を実施。	年度	水防団と協力 し水防訓練を 実施。	引き続き実施	国と連携して訓練を実施。	平成29 年度~				・水防技術 習会に必 材料の準 講師の派; ・吉野川水 演習を通 水防訓練: 施。	要備遣 k防
「庁舎や災害拠点病院等の 施設の関係者への情報		要配慮者利用	る事項 平成28	・施設管理者	平成28	要配虚者利用	平成29	要配慮者利用	1平成29	要配慮者利用	平成29	要配虚者利用	目平成28	要配慮者利用	1平成28	・関係者と来	平成29	要配慮者利用	平成29	<ul><li>福祉避難所</li></ul>	平成28	市町への支援	実施中					
伝達の充実	10	施設における 避難確保計画 等の作成を指 導する。		水害リスク説明会を実施。 ・要配慮者利用施設における避難計確保 画等の作成を 指導する。	平成29 十年度~	要配慮者利用施設における避難確保財産のでは、選挙のでは、当事のでは、		施設における 避難確保計画 等の作成を指 導する。	年度~	施設における 避難確保計画 等の作成を指 導する。	年度~	施設を地域防災計画で指定し、避難確保計画等の作品を指導する。	ち 年度~ 民 艾	施設における 避難確保計画 等の作成を <mark>指</mark> 導する。	年度~	庁者を含めた 産さの作成を ・要に を記されて ・要に を記されて ・要に を記されて ・要に を記されて ・要に を記されて ・である。 ・でる。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・である。 ・で。 ・でる。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で	平成29年度~	施設における 避難確保計画 等可る。	年度~	との情報伝達 訓練の実施。 ・要配慮者利 用施設(におけ) 一面等の作成を 指導する。	年度~ 平成29 年度~	を実施。						
洪水時の庁舎等の機能 確保のための対策の充 実	1	緊急時の行動 マニュアルを 作成し、訓練 を実施。		緊急時に実施すべき行動計画(アクションカード)を作成する。		・現庁舎での 災対本保と機能 の継続素につ いて検討。 ・浸水想現状と 同様の対応が		浸水想定区均的人物的支持。	成 平成29 6 年度~	緊急時の行動 マニュアルを 作成し、訓練 を実施。	平成29 年度~	浸水想定区域外で現状と同様のような検討を実施。	或 平成28 年度~	庁舎浸水対策 の確認。	章 平成28 年度~	施設関係者を対象に、水防水水防水水防水水防水水防水水防水水防水水防水水防水水水	平成29 年度~	緊急時の行動 マニュアルを 作成し、訓練 を実施。		庁舎浸水無し のため対策不 要。								

#### 〇概ね5年で実施する取組

項	内容	課題の	徳島r		鳴門		吉野川	II市	阿波河		石井	BT	松茂		北島田	BŢ	藍住甲	ij	板野町		上板田		徳島県		水資源機構			四国地方图	
	の主な取組 ③排水・施設								実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	施内容 時期	実施内容	時期	実施内容	時期
			. 500110112		- (AIA) (17)	* ., C > 1,10																							
	資材搬入、作業等のルー 確認、確保	0	緊急時の際、 浸水区域を想 定した、アクセ ス方法の確 認。	年度~	災害時に排力機場のメンテナンス 業 おとう 連絡 が取時 かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた きゅう できる かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた	年度~	浸水想定区域を基本に対し、 を基本では、 を表示では、 を開いて、 を用いて、 を を と を と を と と を と と と と と と と と と と	年度~	浸水想定区域を基本に対して を表記にして を認いし、方法の 傾検討。	年度~	緊急時に納入 業者いの可 場入備 が、 が、 の可 が、 の可 を が の の 可 を と が か の 可 が の で の で が の で が い の で が い の で が い の で が し の に の に の に る と の に の る 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る 。 。 と る 。 と 。 と	平成28 年度~	浸水前に業分の作業がである。 搬入で見かいである。 がでい。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでい。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでい。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでい。 がでいる。 がでい。 がでい。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでい。 がでい。 がでい。 がでい。 がで	は年度	浸水想定区域 を考慮した排 水資機材の搬 入ルートの検 討。	年度~	浸水想定区域 を基に活用で きるルー方法 を検討。	平成29 年度~	緊急時に納入 業者からどれ くらいの可苦し が、備数量を確 いる数量を確 いる数量を確	. 平成29 年度	資材搬入ルート確保済。	· 引き続き実施	資材搬入等のルートのハードのハードのハードのハードの小の記載について、市町を支援。	平成28 年度~				浸水想定区域 を基に活用で きるルートを確 記し、市町の作 成を支援。	年度
· 持道	非水施設、排水資機材の 運用方法の改善	18	関連する国、県管理施設との連携強化。	平成28 年度~	排水機場の作力を カアップを かっまた。 が予ま想で ができまれるが では、 ができまれるが では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	<b>莉</b>	管理中の機材はない。 関係機関との情報を強、連携を強化する。	)	阿波市排水交策基本計画を選集では、排水が変換を表示を、排水が実に、排水が緩に、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対する。	ş	管理中の排水施設、資機材はない。資機材はない。資機材はない。 はない。 情報連携を強化する。		平成24年・平 成25年作成 排水計場で 排水引状に あったポンプ 整備を実設。 (産業建設 所管分)	引き続き実施	排水機場、橋等 門、排水大有を の情報、共有を がまえ、ポステ している切な で を検討。		大規模な浸水 を想定した排 水計画(案)を 作成。	平成29 年度~	種門、排水路有 等の諸夫利 情報共利 を附できる頃な把 材の値理を行 う。		月1回の定期 点検を実施。	引き続き実施	国と連携し、 排水施設、排 水資機材の運 用の改善を検 討。	平成28 年度~				堤防決議 機関 を 場面 表示 が 場面 表示 が を 対表 で が表示 が が表示 が 場に で で で で で で で で で で で で で で	平月年月
7 1	非水計画の作成及び排 水ポンプ車運用の効率 化を図るための釜場の 抽出、整備	T)	排水ポンプ車 の運用につい て検討。	平成28 年度~	大規模な浸力を想定し、国を地震は、金場では、金場では、金場に、金場に、金場に、金場に、金場に、金場に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般	=	排水ポンプ車 は保有してい ない。		樹木の伐採等を実施と焼出また検討する。	年度~	排水ポンプ車を保有していない。		重点浸水地均 (広島北川向) に、抹水ボン ブを設うに、設 るように、設 電場所の存 行っていく。		排水保付い水(標本のを 様水は、 様水は、 はない場かは はない場かは が、 はない場かは が、 はないが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいがない はいがない はいがない はいがない。 でいない でいない でいない でいるでいる でいるでいる でいるできます。 でいるでいるできます。 でいるでいるできます。 でいるでいるできます。 でいるできまする。 でいるできまする。 でいるできまする。 でいるできまするできます。 でいるでいるできます。 でいるでいるできます。 でいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	i	まずは、排水ポンプ車の整備を検討。	平成29 年度~	排水ポンプ車出動の必要定ケースの想定とあわせ検討。		排水ポンプ車なし。		大規模な浸水がの長期化にか、金場の抽出を実施。	引き続き実施				排水ポンプ車 の稼働がしや すくなるように 釜場の設置や 施設整備を実 施。	
	関係機関と連携した排水 削線の実施	18	樋門操作人の方が高齢のため、扉体味開開操作の定期的操作の定期的な訓練が必要。	平成28 年度~	国、県等が開催する排水オンブ車等の割 線に参加する。	可 平成28 年度~	排水ポンプ車等の訓練に参加。	I 平成29 今 年度~	操作人の方が 高齢のため、 排水機場運染 や機門操作 の定期的な 練が必要。		関係機関と連携した排水ボンブ車等の訓練の実施を検討。	平成29 年度~	・危機関係を 等、情報を 力水が協議し 力水がは 協議を は、 が高の で、 定期線 で、 定期線 で、 で、 変期線 等で、 変 期間を り、 が で、 変 期間を り が で、 変 期間を り で で で 変 り の を り を り の で で り を り で で で で で で で で で で で で で で で	平成29	施。 排水ポンプ車等の訓練に参加。	平成29 年度	町の防災訓練ので排水訓練の実施を検討。	平成29 年度~	排水ポンプ車等の訓練に参加。	平成29: 年度	排水ポンプ車等の訓練に参加。	平成29: 年度~	排水ポンプ車 等による訓練: に参加。					県と合同で排 水ボンブ車部 水ボン変施。その 線際、市町にも見 学参加依頼を 実施。	
	曼水が長期化する箇所 こおける排水計画の検討	1718	浸水が長期化する箇所における排水計画の検討。				浸水が長期化する箇所における排水計画の検討。	年度~			浸水が長期化する箇所における排水計画の検討。	文 平成29 年度~											浸水が長期化する箇所における様水計画の検討。					関係機関参加 の下、浸水が 長期化する箇 所における排 水計画の検 討。	
	ダムの危機管理型の運用 方法の検討	19																					宮川内ダム洪 水警戒体制の 手引きを作成 し運用。	き実施 口(福 ・ 現 ダをすす)	或連携窓 別所長〉の 的な活 「施設で 分点大吸熱 長る洪水発 る法の検 実施。			通常操作以上 信常留容量 にやしてにいている。 でも効分別防が別所が が別がのでいた。 での一位 での一位 でしていて を対する を対する での一位 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	平年